

4-1 教育研究上の情報

4-1-12 岡山ESD（持続可能な開発のための教育）プロジェクトへの参加

1987年に「環境と開発に関する世界委員会」が提唱した「持続可能な開発（Sustainable Development）」は世界から広く支持され、2002年の「持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグサミット）」において、日本政府がNGOと共に「ESD（持続可能な開発のための教育）」の推進を提案し、国連総会の決議を経て、2005年から「国連ESDの10年」が始まりました。

岡山地域は、国連大学が提唱した「ESDに関する地域の拠点（RCE）」構想に賛同し、2005年4月に「岡山ESD推進協議会」を設立するとともに、「岡山ESDプロジェクト基本構想」を策定しました。同年6月には、国連大学から世界初のRCEの7カ所の1つに認定され、それ以降、公民館やユネスコスクールを拠点とした地域におけるESD活動を開始し、地域全体でESDを推進する体制を整えてきました。2021年9月現在において、教育機関、市民団体、企業、行政などの334団体・機関が岡山ESD推進協議会に参加しています。

国連では2015年に「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を採択し、先進国と開発途上国が共に取り組むべき普遍的な目標として「持続可能な開発目標（SDGs）」を示しました。ESDは、SDGsの4のターゲット4.7に記載され、SDGs全体を支えるものとして位置づけられています。

こうした動きを踏まえて、ユネスコは2019年に「ESD for 2030」を決定し、岡山ESD推進協議会でも、新たなビジョンとして「岡山ESDプロジェクト2020－2030基本構想」を策定しています。

IPU・環太平洋大学は、岡山ESDプロジェクトに参加し、地域振興・まちづくり、教育・子育て支援、健康福祉などの分野で活動することにより、SDGs/ESDの理念を取り入れた人材育成を行っています。

また、岡山ESD推進協議会では、阿部宏史環太平洋大学副学長が会長を務めており、岡山地域のSDGs/ESD推進において主要な役割を果たしています。

<参考となる岡山市のホームページ>

岡山ESD推進協議会 <https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000005674.html>

岡山ESD推進協議会の活動団体一覧 <http://www.okayama-tbox.jp/esd/pages/2900>